

主要産地における平成29年産水稻の生育状況等について 第11報 (7月27日現在)

作成：公益社団法人米穀安定供給確保支援機構情報部 (平成29年7月28日)

道府県	生育状況等	
	区分	育苗・田植進捗状況・生育状況等 (自治体等公表資料の抜粋)
北海道		育苗・田植進捗状況・生育状況等 (自治体等公表資料の抜粋)
		平年に対する遅速等
北海道	(全道)	生育は、平年並に推移している (遅1日)。草丈は64.3cm (平年差-0.2cm)、葉数は10.5枚 (平年差+0.1枚)、葉数は645本/m ² (平年差-19本) でいづれも平年並。 (北海道農政部 7月15日現在)
北海道	(空知)	生育は平年並に進んでいる (遅2日)。草丈は65.9cm (平年差-0.1cm)、葉数は10.6枚 (平年差+0.2枚)、葉数は600本/m ² (平年差-17本) でいづれも平年並。 (空知総合振興局 7月15日現在)
北海道	(石狩)	高湿・多湿により生育は順調である (早1日)。草丈は59.4cm (平年差+1.3cm)、葉数は10.1枚 (平年差+0.2枚)、葉数は662本/m ² (平年差-5本) といづれも平年並。 (石狩総合振興局 7月15日現在)
北海道	(後志)	草丈は59.3cm (平年差-2.3cm) で平年並、葉数は10.3枚 (平年差+0.2枚) で平年並、葉数は600本/m ² (平年差-44.0本) でやや少ない。生育の遅速は遅3日。 (後志総合振興局 7月15日現在)
北海道	(胆振)	生育は平年並 (早2日)。草丈は64.3cm (平年差+1.1cm) でやや長、葉数は10.4枚 (平年差+1.0枚) で平年並、葉数は594.4本/m ² (平年差+0.1本) で平年並。 (胆振総合振興局 7月15日現在)
北海道	(日高)	7月に入り、好天が続き、生育が回復した (早2日)。草丈は64.9cm (平年差+3.5cm) で平年並、葉数は10.6枚 (平年差+0.5枚) で平年並、葉数は661.7本/m ² (平年差+39.9本) でやや多。 (日高総合振興局 7月15日現在)
北海道	(渡島)	生育は概ね平年並に推移 (幼穂形成早1日)。草丈は59.8cm (平年比99%) で平年並、葉数は10.1枚 (平年比103%) で平年並、葉数は690本/m ² (平年比91%) でやや少ない。 (渡島総合振興局 7月15日現在)
北海道	(檜山)	生育は平年よりやや遅れている (遅3日)。草丈は60.0cm (平年差-3.9cm) でやや短、葉数は10.3枚 (平年差-0.1枚) で平年並、葉数は704.0本/m ² (平年差-36.9本) で平年並。 (檜山総合振興局 7月15日現在)
北海道	(上川)	7月前半の日照不足により生育は停滞したものの、6日以降の好天により生育は回復傾向である (遅3日)。草丈は61.5cm (平年差+0.1cm) で平年並、葉数は10.5枚 (平年差+0.1枚) で平年並、葉数は487本/m ² (平年差-58本) で少。 (留萌総合振興局 7月15日現在)
北海道	(オホーツク)	生育は平年並である (遅速±0日)。草丈は66.6cm (平年比103%) で平年並、葉数は8.9枚 (平年比100%) で平年並、葉数は554.0本/m ² (平年比94%) でやや少ない。 (オホーツク総合振興局 7月15日現在)
青森	(生育)	<7月20日現在の生育状況> ・黒石の「つがるロマン」は、草丈が69.5cmで平年並、株当たり葉数は27.5本で平年より1.7本少なく、葉齢は12.0葉で平年より0.3葉多かった。幼穂形成期の到達日は7月12日で平年と同じであった。また、「青天の霹靂」は、草丈が79.7cmで前年より11.1cm長く、株当たり葉数は27.6本で前年より2.2本多く、葉齢は11.3葉で前年より1.1葉多かった。幼穂形成期の到達日は7月10日で、平年と同じ。 ・十和田の「まっしぐら」は、草丈が76.4cmで平年より2.7cm長く、株当たり葉数は22.2本で平年より0.7本少なく、葉齢は12.2葉で平年より0.7葉多かった。幼穂形成期の到達日は7月8日で平年より1日早。 (青森県産業技術センター農林総合研究所 7月24日)
青森		・斑点米カメムシ類の発生が「多い」と予想 (農林水産省 7月26日付)
青森		・8月の病害虫の発生量は、穂いもちはやや少ない、紋枯病は平年並と予想。斑点米カメムシ類、フタオビコヤガはやや多い、コバネイナゴ、ウンカ類はやや少ない、コブメイガは少ないと予想。 (青森県病害虫防除所 7月26日公表)
岩手	(生育)	・7月25日現在、農業研究センター(北上)の草丈、葉色 (SPAD値) は平年を上回っており、葉数は平年を下回っている。また、「あきたこまち」では平年を上回っているが、「ひとめぼれ」、「銀河のしずく」は平年並となっている。また、「あきたこまち」、「銀河のしずく」は7月22日に減数分裂期を迎えている。 ・「ひとめぼれ」の草丈は82.1cm (平年差+7.1cm)、葉数は600本/m ² (平年比95%)、葉齢は12.0葉 (平年差-0.1葉)、葉色 (SPAD値) は40.6 (平年差+1.1)。「あきたこまち」の草丈は82.1cm (平年差+7.2cm)、葉数は503本/m ² (平年比93%)、葉齢は12.7葉 (平年差+0.6葉)、葉色 (SPAD値) は43.1 (平年差+1.8)。「銀河のしずく」の草丈は86.7cm (平年差+8.6cm)、葉数は472本/m ² (平年比89%)、葉齢は12.0葉 (平年差-0.1葉)、葉色 (SPAD値) は40.5 (平年差+1.2)。 ・県北農業研究所 (軽米) の「いわてっこ」の草丈、葉色 (SPAD値) は平年を上回っており、葉数、葉齢は平年を下回っている。また、7月21日に減数分裂期を迎えている。 草丈は71.1cm (平年差+6.8cm)、葉数は437本/m ² (平年比72%)、葉齢は11.2葉 (平年差-0.2葉)、葉色 (SPAD値) は39.8 (平年差+0.8)。 (岩手県農業研究センター 7月26日付)
岩手		・斑点米カメムシ類の発生が「多い」と予想 (農林水産省 7月26日付)
岩手		・7月の病害虫の発生量は、穂いもちはやや多、紋枯病はやや多、稲こし病は少の予想。斑点米カメムシ類(アサジギスミカメ) (第1世代) はやや多、コバネイナゴはやや多、フタオビコヤガ (第2世代) は平年並の予想。 (岩手県病害虫防除所 6月28日付)
宮城	(生育)	・7月20日現在、県内平坦部のほとんどのほ場では減数分裂期に達しており、出穂期 (県全体の平均) は平年より2日早い8月3日頃 (平年比85日) になる見込み。(7月20日現在の水稻の生育調査ほの幼穂長63.1mm) 草丈は71.3cm (平年比102%)、1m当たりの葉数は32本 (平年比102%)、葉数は12.2枚 (平年差+0.3枚) となっている。 葉色を示すGM値は33.8 (平年差-0.7) で、前回調査 (7月10日) より急激に低下しており、望ましい葉色値を下回っている。 (宮城県 7月21日付) (仙台) 7月20日現在、生育はほぼ平年並で、生育調査ほ全地点で減数分裂期に達した。今後の気温が平年並で推移した場合、出穂期(管内全体の最盛期)は平年より2日早い8月2日頃になる見込み。 ひとめぼれ(管内平均)の草丈は70.2cm (平年比101%)、葉数は476本/m ² (平年比103%)、葉数は12.2枚 (平年差+0.4枚)、葉色 (GM値) は33.0 (平年差+0.5)、ササニシキ(管内平均)の草丈は74.8cm (平年比101%)、葉数は438本/m ² (平年比85%)、葉数は12.1枚 (平年差-0.1枚)、葉色 (GM値) は33.2 (平年差-1.6)。 (宮城県仙台農業改良普及センター 7月24日付) (美里) 7月20日の調査結果では、草丈はほぼ平年並、葉数は平年より少ない。葉数は鹿島台ササニシキでは平年より1枚多い。葉色はひとめぼれは平年並。 7月21日現在、管内のひとめぼれの出穂期は、5月5日移植で7月29日～8月2日、5月10日移植で8月1日～6日、5月15日移植で8月4日～8日、5月20日移植で8月7日～12日の見込み。(美里農業改良普及センター 7月24日付) (登米) 7月20日現在の生育状況は、平年に比べ、草丈は平年並、葉数は多い。葉数は平年並、ほ場によりばらつきがみられる。葉色は濃い。 直播栽培は、前年に比べ、草丈はほ場によりバラツキがみられるが、平年並。葉数はほ場によりバラツキがみられるが、多い。葉数は少なめ、生育はやや遅れ、葉色はやや淡い。 (宮城県米づくり推進委員会地方本部登米農業改良普及センター 7月24日付) (栗原) 7月20日現在、ひとめぼれ(生育調査ほ3か所平均)は、草丈はほぼ平年並、葉数は平年より多く、葉数も平年より多い状況。葉色は、前回調査から急に低下し、平年より濃く、ひとめぼれの減数分裂期の期待葉色値を下回っている。幼穂長等から推測すると、ひとめぼれ等の中生品種は減数分裂期を迎えており、出穂期は平年より1～2日早まり、7月31日～8月1日頃と見込まれる。「つや姫」は幼穂形成期になっており、出穂期は8月8～9日頃と見込まれる。 (栗原農業改良普及センター 7月21日付) (大崎) 7月20日現在、草丈及び葉数は平年並、葉数は、北部平坦ひとめぼれ、山間高冷やまのしずく以外は平年を上回っている。葉色は西部丘陵のひとめぼれ、まなむすめは平年を下回っており、その他は平年並～上回っている。 今後の気温が平年並で推移した場合北部平坦の出穂期は、7月28日～8月8日頃になる見込み。 (大崎農業改良普及センター 7月24日付) (本吉) 7月20日現在、気仙沼市本吉町の生育調査ほ(ひとめぼれ)においては幼穂形成期を迎え、まもなく減数分裂期に達するとみられる。南三陸町入谷の生育調査ほ(ササニシキ)においては、減数分裂期を迎えている。 管内の生育については幼穂形成期を過ぎ、減数分裂期に達するものとみられる。管内の出穂期は8月7日から8月17日頃と予想されている。 直播栽培普及促進ほの生育概況(鉄コーティング湛水直播)では、生育は順調に進み、幼穂形成期を迎えている。 (宮城県本吉農業改良普及センター 7月25日付) (石巻) 7月10日現在の、生育調査ほの生育状況は、草丈はひとめぼれで平年より短く(平年比93%)、葉数は平年並からやや少なく(平年比90%～97%)、葉色は平年並～やや濃くなっている。7月10日現在の予測では、管内の出穂日は8月3日頃の見込み。 (石巻農業改良普及センター石巻地方米づくり推進本部 7月13日付)
宮城		・斑点米カメムシ類の発生が「多い」と予想 (農林水産省 7月26日付)
宮城		・8月上旬までの、穂いもちと穂いもちの発生量はやや少、紋枯病は平年並、稲こし病はやや少、斑点米カメムシ類はやや多、イネアオムシはやや少の予想。 (宮城県病害虫防除所 7月21日公表)

注：この資料は、地方自治体及び出先機関等が各々のホームページで公表している資料について、一般及び関係者に周知することを目的として、米穀機構情報部が各公表資料の一部を抜粋し取り纏めたものです。各情報の詳細につきましては、末尾に明示している原資料を参照してください。

	平年に対する遅速等	同左及び周辺事情に対する自治体等公表資料等(抜粋)
秋田	<p>(山本) 7月14日現在の管内水稲定点調査ほ(管内9地点、品種:あきたこまち)の生育は、草丈60.9cm(平年比96%)、茎数514本/m²(平年比96%)、葉数11.0葉(平年差-0.1)、葉色(SPAD値)43.6(平年比105%)となっている。(7月14日付)</p> <p>(由利) 7月14日の水稲定点調査結果(3品種・移植8か所平均)によると、草丈は59.4cmで短く(平年比95%)、mあたり茎数は525本で少なく(平年比93%)、葉数は10.4葉と平年より遅く(平年差-0.4葉)となった。多くのほ場で幼穂形成期に入っている。(7月21日付)</p> <p>(雄勝) 7月5日現在の定点調査ほ(あきたこまち8か所)の生育は草丈41.0cm(平年比83%)、葉数432本/m²(同83%)、葉数9.7葉(同-0.1葉)、葉色(SPAD値)46.8(同103%)となっている。草丈は平年より短く、葉数は依然として平年より少ない状況。葉数から見た生育は平年と比べ1日遅れとなっている。(7月7日付)</p> <p>(秋田) 7月14日現在の定点調査ほ(あきたこまち:10地点平均)の草丈は62.5cm(平年比95%)で平年より短く、1m当たりの茎数は471本(平年比93%)で平年より少なく、葉色(葉緑素計値)は平年よりやや遅く(平年比93%)、葉数は10.9葉(平年差-0.4葉)で、平年よりやや遅くなっている。(7月21日付)</p> <p>(仙北) 7月5日現在の生育状況は、草丈42.1(平年比84%)、葉数491本/m²(平年比91%)、葉数9.4葉(平年差-0.5葉)となっている。7月5日現在のあきたこまちは、草丈46.0cm(平年比89%)、葉数576本/m²(平年比93%)、葉数10.0葉(平年差-0.1)。葉数から見た生育は平年並となっており、葉色が平年より遅い状況。(7月7日付)</p> <p>(鹿角) 7月14日の定点調査では、草丈は60.8cm(平年比98%)と平年並、葉数は590本/m²(平年比100%)と平年並、葉数は11.0葉(平年差-0.1葉)と平年並、葉色は46.2(平年比114%)と平年より遅い結果。(7月21日付)</p>	<p>・斑点米カメムシ類の発生が「多い」と予想 (農林水産省 7月26日付)</p> <p>・7月の病害虫の発生量は、葉いもちちは平年並、紋枯病、稲こじ病はやや少ない、斑点米カメムシ類(アカスジカスミカメ、アカヒゲホリミドリカスミカメ)は平年並、フタオビコヤガはやや少ない、コハネナガは平年並、アワヨトブは多いと予報 (秋田県病害虫防除所 6月30日公表)</p>
山形	<p>・7月20日現在の平坦部「はえぬき」の生育は、草丈、葉数、葉色とも平年並みとなっている。 農業総合センターによる幼穂からみた出穂期は、「はえぬき」「つや姫」ともほぼ平年並と見込まれる。 (オールやまがた米づくり日本一運動本部 7月20日付)</p> <p>(酒田飽海) 7月10日現在、はえぬきの草丈は「平年並」、葉数は「やや多く」、葉色は「濃い」。ひとめぼれは、草丈は「やや短く」、葉数は「平年並」、葉色は「やや少なく」、葉色は「平年並」。つや姫は、草丈は「短く」、葉数は「平年並」、葉数は「やや少なく」、葉色は「平年並」。低温で少ない推移していた葉数は、「平年並」から「やや多く」まで回復している。葉色は、今回の調査では、やや濃いものの「しっかりと中干し」で低下傾向。直播栽培は、引き続き生育量は不足。水田農業試験場(鶴岡市藤島)の幼穂調査によると、出穂は中生晩品種(ひとめぼれ、はえぬき)、晩生品種(つや姫、コシヒカリ)いずれも平年より1~2日遅いと予想。 (庄内総合支庁酒田農業技術普及課 7月13日付)</p> <p>(北村山) 生育は、草丈は平年並、葉数はやや多く、葉色はやや濃い傾向にある。 出穂期は平年並と予想(「はえぬき」は8月9日~9日、「つや姫」は8月10日~13日) (オールやまがた米づくり日本一運動本部・村山総合支庁北村山農業技術普及課 7月21日付)</p> <p>(東南村山) 7月10日現在、草丈は平年よりやや短い、葉数は並~やや少ない、葉色はやや濃い状況。幼穂の発育から出穂期は、平年並と見込まれる。「はえぬき」の草丈は51.9cm(平年比86%)で平年より短く、葉数は591本/m²(平年比90%)で平年より少なく、葉数は10.1枚(平年差-0.4枚)で平年より少なく、葉色(SPAD)は45.4(平年差+0.8)で平年並。「つや姫」の草丈は57.8cm(平年比100%)で平年並、葉数は560本/m²(平年比110%)で平年より多く、葉数は8.8枚(平年差-0.4枚)で平年より少なく、葉色(SPAD)は41.5(平年差+3.5)で平年より遅い。 (オールやまがた米づくり日本一推進運動村山地域本部村山農業技術普及課 7月10日付)</p> <p>7月20日現在、「つや姫」調査圃7ヶ所平均値の草丈、葉数はほぼ指標値並で、葉数はやや多く、葉色は濃い状況。 出穂は平年並(8月9日)の見込み。 (山形つや姫ブランド化戦略推進本部村山地域本部 村山農業技術普及課 7月21日付)</p> <p>(鶴岡田川) 7月19日現在、藤島にある水田農業試験場の調査では、出穂期は中生晩の「ひとめぼれ」、「はえぬき」は8月4日、晩生の「つや姫」、「コシヒカリ」は8月12日で、平年より1~2日遅い予想。 (庄内総合支庁農業技術普及課 7月24日付)</p> <p>(最上) 7月20日現在、生育診断圃「はえぬき」の生育は、草丈が平年並、葉数がやや多く、葉色がやや遅く推移している。出穂期は平年より3日程度遅れる見込み。依然として生育のほ場間差が大きい。 (最上総合支庁農業技術普及課 7月26日付)</p> <p>(置賜) はえぬき、つや姫の生育は、「草丈:短く」、「葉数:平年並~やや少なく」、「葉色:平年並」、葉色は「濃い」状況。出穂期は「平年並から2日遅い」予想。 (オールやまがた米づくり日本一運動置賜地域本部実践班 7月6日付)</p> <p>6月30日現在、つや姫の生育診断圃の状況は、指標と比べ、草丈は短いものの、葉数や葉数は指標並みまで回復してきた。葉色はやや濃い状況。圃場間で生育のばらつきが大きく、特に葉数の差が大きくなっている。 (オールやまがた米づくり日本一運動置賜地域本部実践班 7月6日付)</p> <p>(西村山) 6月上旬の低温の影響で生育がやや遅れていたが、7月の天候が高湿・多照傾向であったことから生育も回復し、全般にはほぼ平年並に出穂を迎える見込み。 (J.A.さがえ西村山 J.A.さがえ西村山水稲部会 村山総合支庁西村山農業技術普及課 7月24日付)</p>	<p>・斑点米カメムシ類の発生が「多い」と予想 (農林水産省 7月26日付)</p> <p>・8月の病害虫の発生量は、葉いもちちと紋枯病はやや少く、斑点米カメムシ類とアワヨトブは多い予報 (山形県病害虫防除所 7月26日公表)</p> <p>・斑点米カメムシ類の発生量が県下全域で多いと予想。7月後半(7月18日~19日)に実施した畦畔・農道におけるすくい取り調査(調査地点数:44か所)の結果、発生確認地点率は95.3%(平年:66.8%)と広範囲で発生が確認され、過去10か年で最も高い。 (山形県病害虫防除所 7月20日公表)</p> <p>・南東北で斑点米カメムシ類の発生が「多い」と予想 (農林水産省 7月12日付)</p>
福島	<p>・7月4日現在の農業総合センターの生育調査では、各調査場所とも草丈が平年より短く、葉数は平年より多くなっている。他の形質では、本部(郡山)の主稈葉数は平年より少なく、葉色は平年並から淡く、会津地域研究所(会津坂下)の主稈葉数は平年並、葉色は平年より濃く、浜地域研究所(相馬)の主稈葉数と葉色は平年並となっている。</p> <p>・主稈葉からみた生育は、本部(郡山)では平年より4~7日遅れている。一方、5月1日移植の天のつぶとひとめぼれは、7月3日に幼穂長1mmの茎数が本確認されており、幼穂形成初期は平年よりやや遅い程度になると予想される。会津地域研究所(会津坂下)と浜地域研究所(相馬)の生育は平年並。 (福島県農林水産部 7月7日付)</p>	<p>・斑点米カメムシ類の発生が「多い」と予想 (農林水産省 7月26日付)</p> <p>・葉いもちの発生量は平年並、斑点米カメムシ類の発生量はやや多いと予報 (福島県病害虫防除所 6月29日公表)</p>
茨城	<p><水戸市 7月20日現在> ・5月1日移植 「あきたこまち」の出穂期は7月16日で平年並。「コシヒカリ」の出穂期は7月23日で平年より3日早い。平年と比べ、商品種ともに草丈および葉数は平年並、葉色は平年並~やや濃い。</p> <p>・5月10日移植 幼穂長から予測される出穂期は4日早い。草丈はやや長く、葉数は平年並、葉色はやや濃い。 (茨城県農業総合センター農業研究所 7月24日付)</p> <p>(生育) <龍ヶ崎市 7月19日現在> ・4月27日移植 「あきたこまち」は、出穂期が7月8日で平年より5日早い。「コシヒカリ」は、7月14日時点で、幼穂長が163.5mmであり、幼穂長から予測される「コシヒカリ」の出穂期は、平年より2日早い7月21日頃(今後気温が平年並に推移した場合)。商品種の生育は、草丈は「あきたこまち」で平年並、「コシヒカリ」でやや長く、葉色は商品種とも平年並。</p> <p>・5月8日移植 「あきたこまち」は、出穂期が7月16日で平年より1日早い。「コシヒカリ」は、7月18日時点で、幼穂長が186mmであり、幼穂長から予測される「コシヒカリ」の出穂期は、平年より4日早い7月24日頃(今後気温が平年並に推移した場合)。商品種の生育は、草丈は商品種とも平年より長く、葉色は「あきたこまち」で平年並、「コシヒカリ」で平年より遅い。 (茨城県農業総合センター農業研究所 7月21日付)</p>	<p>・北関東で綿葉枯病(ヒメトビウンカ)の発生が「多い」と予想 (農林水産省 7月12日付)</p> <p>・7月の葉いもち、斑点米カメムシ類の発生量は県下全域で平年並と予報(茨城県病害虫防除所 6月29日公表)</p> <p>・県西地域、県南の一部地域でイネ綿葉枯病の発生量が多いと予報(茨城県病害虫防除所 6月12日公表)</p>
栃木	<p><早稲栽培コシヒカリ(16か所平均)7月20日調査結果> ・草丈は長い(平年比107%)。葉数はやや少なく(95%)、葉色はやや濃い(-0.2)ため、生育診断値(葉色×葉数)は小さい(90%)。葉数はやや多く、幼穂長は16.8cmで平年より8.5cm長い。幼穂長から予測すると、出穂期は、7月20日で平年(8月2日)より7日早い。</p> <p><普通稲栽培(あさひの夢)7月20日調査結果> ・草丈は54.9cmで平年比96%とやや低く、葉数は532本/m²で平年より多いが、地域によりばらつきがある。葉数は10.5で平年より0.3葉多く、葉色は4.3で平年より0.5濃い。生育診断値(葉色×葉数)は2.302で平年比102%とやや大きい。 (栃木県農政経営技術課 7月25日付)</p>	<p>・北関東で綿葉枯病(ヒメトビウンカ)の発生が「多い」と予想 (農林水産省 7月12日付)</p> <p>・6月下旬~7月下旬の綿葉枯病の発生量はやや多いと予報 (栃木県農業環境指導センター 6月16日公表)</p>

	<p style="text-align: center;">平年に対する遅速等</p>	<p style="text-align: center;">同左及び周辺事情に対する自治体等公表資料等（抜粋）</p>
<p>埼玉</p>	<p><センター内生育相 7月5日現在></p> <ul style="list-style-type: none"> 早期栽培（5月2日植 彩のかがやき）は、好天により概ね順調な生育である。莖数は、高温により平年を上回って推移し過繁茂が懸念されたが、中干しが良好に実施できたため、遅発葉の発生が抑えられ、移植後60日調査では概ね平年並となっている。草丈は平年並に推移していたが、中干し後、伸長が抑えられ、平年より1割程度短く推移している。幼穂分化も早く、7月1日時点で幼穂長が4～5mm程度（平年値:0.1mm）であり、出穂期は平年（平年値:7月26日）より1週間程度早まると予想される。 早植栽培（5月19日植 彩のかがやき）は、強風により葉が傷み、初期生育はやや抑制気味であった。莖数は移植後20日調査では平年を大きく下回っていたが、以降、好天により回復し、平年を上回って推移している。草丈は平年より1割程度短く推移している。葉位の進展は速く、移植後40日調査では平年より1枚近く進んでいる。 普通栽培（6月26日植 キヌヒカリ）は、好天により活着は良好である。 <p><県内全般 7月5日現在></p> <ul style="list-style-type: none"> 早期栽培では生育は進んでおり、中干しは概ね順調に行われた。幼穂の分化は5～7日程度早まっている。 早植栽培の生育は、コシヒカリや彩のきずななどの中早生品種では数日早まっている。彩のかがやきなどの晩生品種では平年並からやや早まっている。 普通栽培の生育は、活着が良好で初期生育も概ね順調である。 <p>（埼玉県農業技術研究センター 7月5日現在）</p>	<ul style="list-style-type: none"> 斑点米カメムシ類の発生が「多い」と予想（農林水産省 7月26日付） 7月の病害虫の発生量は、葉いもちはやや少、紋枯病、ヒメトビウモク、綿葉枯病はやや多、ツマグロヨコバイはやや少、イネノトムシ(第2世代幼虫)(イチモンジセリ)は平年並、セジロウムシはやや多、斑点米カメムシは多、イネオムシ(第3世代幼虫)(フタオビコヤガ)は平年並の予想（埼玉県病害虫防除所 6月28日公表）
<p>千葉</p>	<ul style="list-style-type: none"> 7月13日現在、7月上旬の高温により生育がさらに進み、4月20日頃に植付した「ふさおとめ」、「ふさこがね」、「コシヒカリ」の出穂期は、平年より3日程度早まっている。また、5月1日頃に植付した「コシヒカリ」は、7月22日頃から出穂期を迎えると予想される。（千葉県農林水産部 7月13日付） 	<ul style="list-style-type: none"> 斑点米カメムシ類の発生が「多い」と予想（農林水産省 7月26日付） 向う1か月間の病害虫の発生量は、いもち病(葉いもち)、ばか苗病は平年並、イネドロオムシは少、ジャンボタニシはやや多、イネクロカメムシは平年並、ヒメトビウモクはやや多、セジロウムシはやや少の予想（千葉県農林総合研究センター 6月14日公表）
<p>新潟</p>	<ul style="list-style-type: none"> 7月25日現在、コシヒカリの出穂期は、県平均で8月6日で平年並の見込み。コシヒカリの葉色は、指標値（生育のめやす）に比べて、「第10」状況だが、葉色の低下程度は軽化しているものの、指標値に比べ濃いほ場もあり、ほ場間差が見られる。（新潟県農林水産部 7月26日付） （新潟）7月20日現在、コシヒカリは目標に比べ草丈は「並」だが、7月に入り急伸長している。莖数は「並」、葉数の増量は「やや遅」だが、各地域で7月15日頃に幼穂形成期となっており、出穂期は8月7日頃（平年比+1日）に早まる見込み。葉色は「濃い」が、急激に低下しているほ場も見られる。こしいぶきは 草丈「並」、莖数「並」、葉色「並」で、高温により幼穂伸長期が短くなり出穂期は7月28日頃（平年比+1日）の見込み。 コシヒカリ（調査点数9）の草丈は77cm(目標比99%)、莖数は409本/m²(目標比99%)、葉数は11.9葉(目標差-0.4葉)、葉色(SPAD値)は34.9(目標差+2.5)、こしいぶき(調査点数2)の草丈は74cm(目標比103%)、葉数は461本/m²(目標比102%)、葉数は13.0葉(目標差+0.2葉)、葉色(SPAD値)は36.4(目標差-0.6)、新之助(調査点数3)の草丈は62cm(目標比96%)、莖数は459本/m²(目標比83%)、葉数は12.3葉(目標差+0.3葉)、葉色(SPAD値)は33.6(目標差-0.4)。（新潟県農業普及指導センター 7月21日付） （岩 船）7月13日現在、コシヒカリの生育は、指標値と比較して、草丈は並、莖数は並、葉数は並～やや遅、葉色はやや濃い。草丈は急伸長、葉色は濃い状態が続いている。コシヒカリ（調査場所6ヶ所の平均）の生育状況は、草丈は65cm（指標比98%）、莖数は433本/m²（指標比98%）、葉数は10.8葉（指標差-0.4葉）、葉色(SPAD値)は39.0（指標差+4.5）。（村上農業普及指導センター 7月13日現在） 7月10日現在、指標値と比較して、草丈は並、莖数は並～やや遅、葉数は並～やや遅、葉色はやや濃い。コシヒカリの生育は、中山間地域でやや遅れているものの、平坦部では、ほぼ平年並の生育進度に近づきつつある。コシヒカリの最高分け時期は、7月5日～7月10日頃であり、莖数は平坦部では指標値に比べ並、中山間地域ではやや少となっている。早生品種の幼穂形成期は、平年比3日程度遅くなっているが、こしいぶきは幼穂形成期に達しているほ場が多く見られる。 コシヒカリ（調査場所6ヶ所の平均）の生育状況は、草丈は59cm（指標比97%）、莖数は435本/m²（指標比94%）、葉数は10.5葉（指標差-0.2葉）、葉色(SPAD値)は39.7（指標差+4.3）。（村上農業普及指導センター 7月10日現在） （三 条）7月20日の調査結果（管内コシヒカリ35か所）は、草丈は81cm（指標比106%）、莖数は408本/m²（指標比99%）、葉数は12.0葉（指標差+0.0葉）、葉色SPDAは34.5（指標差+0.5）。（三条農業普及指導センター 7月20日付） （南魚沼）7月25日現在の生育状況（管内調査地点のコシヒカリの平均）は、草丈は78cm（指標比99%）、莖数は394本/m²（指標比104%）、葉色(SPAD値)は33.9（指標差+1.3）、葉数は12.4葉（指標差+0.3葉）。ほ場～とのラッパが穴が大きく、倒伏や葉萎凋落の懸念があるほ場が見受けられる。（南魚沼地域農業振興協議会・南魚沼農業普及指導センター 7月27日付） （糸魚川）7月10日現在、コシヒカリ（田植え日：5月2～22日）の生育状況は、指標値に比べ草丈は短い、莖数は多い、葉数はやや少、葉色は濃い。前調査日から草丈が急激に伸長し(10日で平均22cm伸長)、葉色が増加（SPADで平均2.1増加）している。葉色は5月中旬の田植えほ場では、特に濃い傾向。幼穂形成期は、成沢で7月11日、西川原で7月12日と見込まれ、出穂期は成沢では8月2日、西川原では8月3日と見込まれる。現時点の予想では、出穂期は概ね平年並、前年と比べ3日程度遅くなる見込み。（糸魚川地域農林振興部 7月11日付） （巻）葉色の特徴前回調査（7月20日）に比べて低下しているほ場が多く、指標値並となっている。地点別にみると指標値より葉色が深いとみが見られる。コシヒカリの出穂は平年並の見込み（巻農業普及指導センター 7月25日付） （魚 沼）7月20日のコシヒカリ生育調査結果（14地点平均値）は、草丈75cm（指標値比100%）、莖数402本/m²（指標値比94%）、葉数11.5葉（指標値差0.0葉）、葉色(SPAD値)35.0（指標値差+3.0）。指標値に比べ、草丈は並、莖数はやや少ない、葉数は並、葉色は濃い。（魚沼農業普及指導センター 7月20日付） （柏 崎）7月20日現在、こしいぶきとコシヒカリともに、指標値と比較して、草丈は並～やや長い、莖数は並～やや多い、葉数はやや早い、葉色は並。草丈と葉色はほ場によって幅が大きい。こしいぶき（3カ所平均）の生育状況は、草丈は73cm（指標比103%）、莖数は423本/m²（指標比98%）、葉数は12.5葉（指標差+0.3葉）、葉色(SPAD)は35.7（指標差-0.3）。コシヒカリ（6カ所平均）の生育状況は、草丈は79cm（指標比104%）、莖数は458本/m²（指標比109%）、葉数は12.0葉（指標差+0.4葉）、葉色(SPAD)は31.6（指標差-0.1）。（柏崎農業普及指導センター 7月20日付） 7月25日現在、新之助の生育はやや早まっている。生育状況（3カ所平均）は、草丈は74cm、莖数は497本/m²、葉色(SPAD)は33.0。（柏崎農業普及指導センター 7月25日付） （新発田）コシヒカリの生育概況（7月25日調査）は、草丈は84cm（指標比105%、やや長）、莖数は402本/m²（指標比105%、やや多）、葉数は12.8葉（指標差+0.6葉、やや多）、葉色は葉緑素計32.9（指標差-0.6、並）。コシヒカリの出穂期は平年並と予想（5月10日移植のコシヒカリで8月8日頃）。（新発田農業普及指導センター 7月25日付） （長 岡）7月25日現在、気象感応ほのこしいぶき(5月14日植え)では、7月13日幼穂形成期、8月6日頃出穂の見込みで、出穂期は平年並。葉色(SPAD値)は、定点調査ほ場では「ほぼ指標値並」となっているが、一部で葉色の指標値を大きく下回り、葉色(SPAD値)30以下のほ場も見られる。（長岡農業普及指導センター 7月25日付） （十日町）5月20日頃までに移植されたほ場は、1回目の穂肥施用で葉色が維持されており、草丈、莖数ともに指標値「並」の生育。5月末以降に移植されたほ場は、葉色の低下が緩慢で遅く推移している。（十日町農業普及指導センター・十日町地域農業振興協議会魚沼米振興部会 7月25日付） （佐 渡）7月20日現在、全生育調査項目とも、指標値に戻ってきた。コシヒカリの出穂期は先回予想より1日早まり8月8日となる見込み（5月6日植えの予想）。（佐渡農業普及指導センター 7月20日付） （津南町）6月30日現在の生育状況は、草丈は「短い」、莖数は「平年並」、葉数は「平年並」、葉色は「平年並」の状況。出穂期は、平坦地、台地ともに平年より2日遅い見込み。（十日町地域農業振興協議会 7月6日公表） （上 越）7月25日現在、「コシヒカリ」の葉色は、穂肥施用により並程度に維持されている。「こしいぶき」の出穂は平年並と見込まれる（5/10～15の田植えで7/30頃）。葉色は濃い状態にある。（上越農業普及指導センター 7月25日付） 	<ul style="list-style-type: none"> 斑点米カメムシ類の発生が「多い」と予想（農林水産省 7月26日付） 7月後半の病害虫の発生量は、葉いもちはやや少なく、穂いもち、紋枯病、福こうじ病は平年並、ニカメイチュウは少く、セジロウムシはやや少く、ツマグロヨコバイはやや多い。斑点米カメムシ類はやや多い～多い、イネオムシはやや少ない、コフメイガ、コバネイガは平年並と予想（新潟県病害虫防除所 7月13日公表） 7月の病害虫の発生量は、葉いもちはやや少ない、紋枯病、福こうじ病、ニカメイチュウ、ツマグロヨコバイ、斑点米カメムシ類は平年並、イネオムシはやや少ない、コフメイガ、コバネイガは平年並と予想（新潟県病害虫防除所 6月29日公表）

	平年に対する遅速等	同左及び周辺事情に対する自治体等公表資料等（抜粋）
富山	<p><生育観測ほデータ（7月18日現在）></p> <p>（コンヒカリ）葉齢は平年並となっており、草丈、葉色は平年並、茎数は多く推移している。幼穂形成期は、平年並の7月12日となった。出穂期は、平年並の8月3日頃と見込まれる。草丈は80.7cm（平年比100%）、茎数は506本/m²（平年比112%）、葉齢は13.1（平年差+0.1）、葉色（SPAD値）は33.5（平年差+0.7）。</p> <p>（てんこもり）葉齢は平年よりやや進んでおり、草丈、葉色は平年並、茎数はやや多く推移している。幼穂形成期は、平年より2日早い7月13日となった。出穂期は、平年より2日早い8月5日頃と見込まれる。草丈は71.8cm（平年比98%）、茎数は584本/m²（平年比105%）、葉齢は14.2（平年差+0.2）、葉色（SPAD値）は36.0（平年差+1.0）。</p> <p>（てんたかく）5月5日移植の「てんたかく」の出穂期は、平年より1日遅い7月23日頃と見込まれる。成熟期は、平年より1日程度遅い、8月28日頃と見込まれる。</p> <p>（富山県農業技術課 広域普及指導センター 7月18日付）</p> <p><直播栽培の生育状況（7月18日現在）></p> <p>・湛水土中直播栽培（カルバー）は、葉齢は平年並となっており、草丈、茎数、葉色とも平年並に推移している。幼穂形成期は、平年より1日早い7月16日であった。出穂期は、平年より1日早い8月7日頃と見込まれる。</p> <p>・湛水表面直播栽培（鉄）は、近年に比べ葉齢はやや進んでおり、草丈、葉色は並、茎数はやや多くなっている。幼穂形成期は、近年より1日早い7月17日頃と見込まれる。出穂期は、近年より1日早い8月7日頃と見込まれる。</p> <p>・乾田V溝直播栽培は、平年に比べて葉齢がやや進んでおり、草丈、葉色は並、茎数は多くなっている。幼穂形成期は、平年より2日早い7月19日頃と見込まれる。出穂期は、平年より2日早い8月10日頃と見込まれる。</p> <p>（富山県農業技術課 広域普及指導センター 7月18日付）</p>	<p>・斑点米カメムシ類の発生が「多い」と予想 （農林水産省 7月26日付）</p> <p>・7月の病害虫の発生量は、葉いもち、穂いもち、紋枯病、稲こじ病はやや多いと予想。斑点米カメムシ類のアカヒゲホリミドリカスミカメはやや多い、アラスジカスミカメ、トゲシロシカメは多いと予想。ニカメイガ（第2世代）は発生時期が早く発生量は平年並、ツマグロヨコバイ、ヒメトビウンカは平年並、セジロウンカ、イネアオムシ、イナゴ類は少ないと予想 （富山県農林水産総合技術センター 6月30日公表）</p>
石川	<p>・出穂期予想は、7月に入り気温が高く推移したことから、前回調査時に比べ予想出穂期はやや早まっている。ゆめみつほは、加賀地域では既に出穂期を迎えているほ場もあるものの、近年並〜2日程度遅く（7月17日〜22日）、能登地域では近年並（7月22日頃）と見込まれる。能登ひかりは近年に比べ1日程度遅くなる（7月26日頃）と見込まれる。コシヒカリは、加賀地域は平年並〜2日程度早く（7月26日〜31日）、能登地域は平年並（7月30日〜8月4日）と見込まれる。</p> <p>・草丈は、コシヒカリで平年比102%（加賀地域101%、能登地域104%）と並。ゆめみつほは、近年比100%（加賀地域100%、能登地域101%）と並。</p> <p>・m²あたりの茎数は、コシヒカリは平年比106%（加賀地域106%、能登地域106%）と並、ゆめみつほは近年比108%（加賀地域108%、能登地域108%）と並となっている。</p> <p>・コシヒカリの葉色は前回調査時から低下し、4.0（葉色板値）と平年及び前年並となっている。</p> <p>（農林総合研究センター 7月18日調査）</p>	<p>・斑点米カメムシ類の発生が「多い」と予想 （農林水産省 7月26日付）</p> <p>・7月中旬〜8月上旬の病害虫の発生量は、穂いもち、紋枯病はやや多、斑点米カメムシ類は多、セジロウンカは平年並、コブメイガはやや多、ツマグロヨコバイは多、フタオビコバヤはやや少と予想 （石川県農林総合技術センター 7月13日公表）</p>
福井	<p>・7月13日現在、移植のコシヒカリは草丈がやや短く、茎数はやや多い。7月10日前後に幼穂形成期を迎えている。移植のハナエチゼンは出穂期を迎えようとしている。 （水田農業レベルアップ委員会技術普及部会 7月14日付）</p>	<p>・斑点米カメムシ類の発生が「多い」と予想 （農林水産省 7月26日付）</p> <p>・7月の病害虫の発生量は、葉いもち、早・中穂いもち、白葉枯病は平年よりやや多く、紋枯病は平年より多く、ニカメイガは平年よりやや少なく、ツマグロヨコバイは平年より多く、セジロウンカ、イネアオムシ、イネアオムシは平年並と予想 （福井県農業試験場病害虫防除室 6月29日公表）</p>
長野	<p>・豊利定点圃場のあきたこまち・差山錦は平年並に、コシヒカリは平年より4日早く幼穂形成期を迎えた。コシヒカリの生育は、平年より4日程度進んでいると思われる。7月20日現在の出穂期予測では、コシヒカリは出穂期で「平年より4日早い」と推定されている。あきたこまちは、7月下旬〜8月初旬に出穂〜穂満期を迎えると思われる。コシヒカリでは、5月の連休中に田植えされたものは、7月末から出穂期を迎えると推定される。 （松本農業改良普及センター 平成29年度 作物技術普及情報 第11号）</p> <p>・7月9日〜19日の調査の結果、農業試験場水稲試験圃（須坂市八重森（標高348m））の幼穂形成期は、平年に比較して「あきたこまち」で2日遅く、「コシヒカリ」で3日早い。 （長野県農業試験場 7月19日）</p> <p>・7月18日の調査の結果、農業試験場原村試験地（標高1,017m）の移植後5日調査では、「ゆめしなの」が平年並、「あきたこまち」が平年より1日早い幼穂形成期となった。全品種草丈は平年並に近づき、茎数はかなり回復したが、平年までは戻っていない。「ゆめしなの」の主穂葉数は10.6枚（平年差+0.5枚）、草丈は69cm（平年比99%）、茎数は471本/m²（平年比81%）。「あきたこまち」の主穂葉数は11.5枚（平年差+1.2枚）、草丈は56cm（平年比93%）、茎数は519本/m²（平年比85%）。 （長野県農業試験場 7月18日調査）</p>	<p>・斑点米カメムシ類の発生が「多い」と予想 （農林水産省 7月26日付）</p> <p>・7月15日からの向こう1か月間、葉いもちの発生量はやや少、紋枯病、ツマグロヨコバイ、イナゴは平年並〜やや多、セジロウンカ、イネアオムシは平年並、カメムシ類はやや多いと予想 （長野県病害虫防除所 7月18日公表）</p>
滋賀	<p><農業技術振興センター 水稲作況調査（6月30日時点）></p> <p>・草丈は、「コシヒカリ」で58.9cm（平年比90%）、「秋の詩」で48.7cm（平年比85%）と、両品種ともに平年より短かった。</p> <p>・茎数は、両品種ともに平年より多く、「コシヒカリ」は871本/m²で平年より約30%、「秋の詩」は836本/m²で平年より約20%多かった。</p> <p>・葉数は、両品種ともに平年並であった。</p> <p>・抜取調査によると、m²あたり乾物量は、両品種とも平年並から小さく、一畝あたり乾物量は、両品種とも平年より小さかった。</p> <p>・「コシヒカリ」の幼穂形成期は7月2日で、平年より3日早かった。</p> <p>・「みずかがみ」の出穂期予測は、5月2日移植では7月19日前後、5月17日移植では7月25日前後の見込み。</p> <p>（滋賀県農業技術振興センター 7月7日付）</p>	<p>・斑点米カメムシ類の発生が「多い」と予想 （農林水産省 7月26日付）</p> <p>・病害虫の発生量は、穂いもち、紋枯病、白葉枯病は平年並、ニカメイガ(Ⅱ)、ヒメトビウンカ、ツマグロヨコバイ、コブメイガはやや少、セジロウンカは少、斑点米カメムシ類はやや多いと予想 （滋賀県病害虫防除所 7月19日公表）</p>
兵庫	<p>・6月30日現在、県北は葉齢の進展は平年よりやや遅く、草丈は短く、茎数は平年より多い。全県では、葉齢の進展は平年並。草丈は平年より長い。茎数は平年並である。コシヒカリの予想出穂期（6月26日現在）は、北但平坦部（豊岡市八社宮、移植日5月15日）では8月3日、県北山間部（新温泉町丹土、移植日5月10日）では8月8日、南但平坦部（朝来市和田山町牧田、移植日5月20日）では8月5日の見込み。キヌヒカリの予想出穂期（6月26日現在）は、県南平坦部（加西市別府町、移植日6月1日）では8月12日、淡路平坦部（南あわじ市榎列、移植日6月20日）では8月20日の見込み。 （兵庫県環境整備部 6月30日付）</p>	<p>・斑点米カメムシ類の発生が「多い」と予想 （農林水産省 7月26日付）</p> <p>・7月21日からの向こう1か月間のいもち病、紋枯病、もみ枯病、セジロウンカ、斑点米カメムシ類、コブメイガの発生量は平年並。綿葉枯病は平年並（一部でやや多）、ヒメトビウンカ、ツマグロヨコバイ、イネアオムシはやや多、トビイロウンカ、フタオビコバヤはやや少の予想 （兵庫県病害虫防除所 7月21日公表）</p>
岡山	<p>・斑点米カメムシ類の発生が「多い」と予想 （農林水産省 7月26日付）</p> <p>・7月の病害虫の発生量は、葉いもち、穂いもち、紋枯病はやや多、ヒメトビウンカ、綿葉枯病は平年並、ツマグロヨコバイ、セジロウンカはやや少、ニカメイガ、トビイロウンカ、斑点米カメムシ類は平年並と予想 （岡山県病害虫防除所 7月3日公表）</p>	<p>・斑点米カメムシ類の発生が「多い」と予想 （農林水産省 7月26日付）</p>
広島	<p>・斑点米カメムシ類の発生が「多い」と予想 （農林水産省 7月26日付）</p>	<p>・斑点米カメムシ類の発生が「多い」と予想 （農林水産省 7月26日付）</p>
山口	<p>・7月3日定点調査結果による生育状況は、各品種とも、おおむね過去の平均と同程度の生育状況となっている。5月中旬までに移植したコシヒカリ等では、概ね最高分けつ期となった。好天により茎数はやや多くなっている。深水等が続くほ場では、葉が長く草姿が乱れ、茎数がやや少なくなっている。</p> <p>・コシヒカリ（6月13日移植）の草丈は53.6cm、茎数は36.1本/株、葉齢の進み具合は9.2葉。ひとめぼれ（6月21日移植）の草丈は49.1cm、茎数は17.5本/株、葉齢の進み具合は8.6葉。きぬむすめ（6月3日移植）の草丈は46.3cm、茎数は18.9本/株、葉齢の進み具合は8.1葉。 （JA長門大津、長門農林事務所農業部 7月5日付）</p>	<p>・斑点米カメムシ類の発生が「多い」と予想 （農林水産省 7月26日付）</p> <p>・7月の病害虫の発生量は、葉いもち、紋枯病は平年並、ヒメトビウンカ、セジロウンカはやや多、トビイロウンカ、コブメイガは平年並、斑点米カメムシ類はやや多の予想 （山口県病害虫防除所 7月3日公表）</p>

	平年に対する遅速等	同左及び周辺事情に対する自治体等公表資料等（抜粋）
愛 媛	<p>(生育) ・7月は早期栽培のコシヒカリ、あきたこまちは穂肥の施用時期にあたる。早期栽培は、幼穂形成から出穂・開花期を迎える。 (愛媛県農林水産研究所 7月6日)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・四国で綿葉枯病（ヒメトビウンカ）の発生が「多い」と予想 (農林水産省 7月12日付) ・7月の病害虫の発生量は、普通期栽培の葉いもち、早期栽培の葉いもち・穂いもちは平年並からやや多、紋枯病は平年並、セジロウカ、コブノメイガ、イチモンジセリ（イネツムシ：第2世代）、斑点米カメムシ類はやや少と予報 (愛媛県 6月30日公表)
高 知	<p>・7月15日現在、早期栽培の作柄は『やや良』が見込まれる。(農林水産省 7月27日付)</p> <p><早期水稲の生育状況(6月30日時点)> 平年より早く最高分げつ期を迎えた。出穂期は、4月5日植え「南国そだち」は6月19日であった。また、「コシヒカリ」の出穂期は、4月5日植えが6月30日と平年より2日早かった。4月14日植えは平年並と予測。</p> <p>(生育) <普通期栽培の生育状況(6月30日時点)> 普通期栽培では、例年どおり6月3日に「ヒノヒカリ」を移植した。草丈が平年よりも低く、茎数が平年よりも多くなっている。葉齢でみた生育進捗は平年より早くしており、順調に生育している。 草丈は40.8cm(平年値41.1cm)、茎数は391本/m²(平年値361本)、葉齢は8.6(平年値8.3) (高知県農業技術センター)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・四国で綿葉枯病（ヒメトビウンカ）の発生が「多い」と予想 (農林水産省 7月12日付) ・7月の病害虫の発生量は、穂いもちは少、ツマグロヨコバイは県中央部と県西部で多、県中西部でやや少、県東部で少と予報。ヒメトビウンカは、県中央部、県中西部、県西部で多、県東部で少の予報。セジロウカは、県中西部で多、県中央部で平年並、県東部、県西部で少と予報 (高知県病害虫防除所 7月5日公表)
福 岡	<p>(生育) ・早期水稲の生育は順調で有効茎は確保され、中干し時期となっている。出穂期は平年比3～4日早い7月中旬の見込み。 ・普通期水稲は、5月中旬～6月上旬植えは、田植え後高温で経過したため活着がよく、生育は順調。平坦地の「夢つくし」は6月上旬、「元気つくし」は6月中下旬、「ヒノヒカリ」は6月下旬が田植えの最盛期となる見込み。 (福岡県農林業総合試験場 平成29年6月15日現在(専技情報より抜粋))</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・斑点米カメムシ類の発生が「多い」と予想 (農林水産省 7月26日付) ・7月のセジロウカ、トビロウカの発生量は平年並と予報(福岡県病害虫防除所 6月30日公表)
熊 本		<ul style="list-style-type: none"> ・斑点米カメムシ類の発生が「多い」と予想 (農林水産省 7月26日付) ・7月の病害虫の発生量は、早期水稲の穂いもちはやや少、早植え水稲の葉いもちはやや少、普通期水稲の葉いもちは平年並と予報。早植え・普通期水稲のツマグロヨコバイ、ヒメトビウンカ、トビロウカは平年並、セジロウカはやや少と予報。早期・早植え水稲の紋枯病は平年並、普通期のコブノメイガは平年並と予報。水稲全般の綿葉枯病は少ないと予報。 (熊本県病害虫防除所 6月30日公表)
宮 崎	<p>(作柄) ・7月15日現在、早期栽培の作柄は『良』が見込まれる。(農林水産省 7月27日付)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・斑点米カメムシ類の発生が「多い」と予想 (農林水産省 7月26日付) ・向こう1か月間の病害虫の発生量は、早期水稲の葉いもちはやや少、紋枯病、ツマグロヨコバイは平年並、セジロウカはやや少、ヒメトビウンカは平年並、斑点米カメムシ類はやや多と予報。普通期水稲の葉いもち、ツマグロヨコバイ、セジロウカ、ヒメトビウンカは平年並、スクミリンゴガイはやや少と予報。 (宮崎県病害虫防除・肥料検査センター 6月27日公表)
鹿 児 島	<p>(作柄) ・7月15日現在、早期栽培の作柄は『良』が見込まれる。(農林水産省 7月27日付)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・斑点米カメムシ類の発生が「多い」と予想 (農林水産省 7月26日付) ・8月の病害虫の発生量は、普通期水稲の葉いもち、穂いもち、トビロウカはやや多、紋枯病は平年並、コブノメイガはやや少と予報。(鹿児島県病害虫防除所 7月27日公表)

注1：地方自治体及び出先機関等がホームページで公表している資料を米穀機構情報部で取り纏め。
注2：生産数量目標、収穫量、作況については、農林水産省の公表資料から抜粋。

道府県	備考 気象関連公表資料（気象台等公表資料の抜粋）	生産数量目標					収穫量（主食用） 28年産	作況指数 28年産
		生産数量目標			参考			
		平成29年産	前年産との比較	増減率	自主的取組参考値（深堀）			
	t	t	%					
全 国	<p>・7月29日～8月28日の1か月間は、気温は高い見込み。西日本では、期間の前半は気温がかなり高い所がある見込み。北・東日本では、日照時間は平年並か少ない見込み。降水量は、北日本では平年並か多い見込み。西日本では降水量は平年並か少ない見込み。 （気象庁 7月27日発表）</p> <p>（8～10月の3か月間の見通し）</p> <p>・向こう3か月の気温は高い見込み。東・西日本では、向こう3か月の降水量は、平年並か少ない見込み。北日本は、ほぼ平年並の見込み。 （気象庁 7月25日発表）</p>	7,350,000	▲ 80,000	▲ 1.1	7,330,000	7,496,000	103	
北 海 道	<p>・北海道地方の7月29日～8月28日の1か月間は、気温は、日本海側と太平洋側で平年並、オホーツク側で平年並か低い見込み。降水量はほぼ平年並。日照時間は、日本海側でほぼ平年並、オホーツク側と太平洋側で平年並か少ない見込み。 （札幌管区気象台 7月27日発表）</p>	535,669	▲ 5,831	▲ 1.1	534,212	545,500	102	
青 森	<p>・東北地方の7月29日～8月28日の1か月間は、気温は日本海側で平年並、太平洋側でほぼ平年並の見込み。降水量は平年並が多く、日照時間は平年並か少ない見込み。 （仙台管区気象台 7月27日発表）</p>	237,294	▲ 2,583	▲ 1.1	236,649	222,300	104	
岩 手	同上（仙台管区気象台 7月27日発表）	265,432	▲ 2,889	▲ 1.1	264,710	254,300	102	
宮 城	同上（仙台管区気象台 7月27日発表）	341,193	▲ 3,713	▲ 1.1	340,264	352,300	105	
秋 田	同上（仙台管区気象台 7月27日発表）	408,644	▲ 4,448	▲ 1.1	407,532	409,600	104	
山 形	同上（仙台管区気象台 7月27日発表）	337,160	▲ 3,670	▲ 1.1	336,243	345,300	103	
福 島	同上（仙台管区気象台 7月27日発表）	332,316	▲ 3,617	▲ 1.1	331,412	333,600	102	
茨 城	<p>・関東甲信地方の7月29日～8月28日の1か月間は、気温は平年並。降水量はほぼ平年並。日照時間は平年並か少ない見込み。 （気象庁 7月27日発表）</p> <p>・関東甲信地方は、7月19日ごろに梅雨明けしたと見られる。（気象庁 7月19日発表）</p> <p>・鬼怒川では、7月6日から10%の取水制限（農業用水）が実施されている。 （国土交通省 7月24日現在）</p>	330,182	▲ 3,594	▲ 1.1	329,284	350,100	99	
栃 木	<p>同上（気象庁 7月27日発表、7月19日発表）</p> <p>・鬼怒川では、7月6日から10%の取水制限（農業用水）が実施されている。 （国土交通省 7月24日現在）</p> <p>・渡良瀬川では、6月23日から10%の取水制限（農業用水）が実施されている。 （国土交通省 7月24日現在）</p>	292,326	▲ 3,182	▲ 1.1	291,531	295,300	102	
埼 玉	<p>同上（気象庁 7月27日発表、7月19日発表）</p> <p>・荒川では、7月21日から20%の取水制限（農業用水）が実施されている。 （国土交通省 7月24日現在）</p>	148,047	▲ 1,612	▲ 1.1	147,644	154,100	101	
千 葉	同上（気象庁 7月27日発表、7月19日発表）	241,239	▲ 2,625	▲ 1.1	240,582	295,900	102	
新 潟	<p>・北陸地方の7月29日～8月28日の1か月間は、気温は高く、降水量はほぼ平年並。日照時間は平年並か少ない見込み。 （新潟地方気象台 7月27日発表）</p>	510,184	▲ 5,553	▲ 1.1	508,796	589,700	108	
富 山	同上（新潟地方気象台 7月27日発表）	181,695	▲ 1,977	▲ 1.1	181,200	191,300	106	
石 川	同上（新潟地方気象台 7月27日発表）	120,996	▲ 1,317	▲ 1.1	120,667	123,900	104	
福 井	同上（新潟地方気象台 7月27日発表）	122,787	▲ 1,337	▲ 1.1	122,453	126,300	104	
長 野	<p>・関東甲信地方の7月29日～8月28日の1か月間は、気温は平年並。降水量はほぼ平年並。日照時間は平年並か少ない見込み。 （気象庁 7月27日発表）</p> <p>・関東甲信地方は、7月19日ごろに梅雨明けしたと見られる。（気象庁 7月19日発表）</p>	189,867	▲ 2,066	▲ 1.1	189,350	197,800	101	

気象関連公表資料（気象台等公表資料の抜粋）		t	t	%	t	t	t
滋 賀	<ul style="list-style-type: none"> ・近畿地方の7月29日～8月28日の1か月間は、気温は高い見込み。降水量は平年並か少なく、日照時間はほぼ平年並の見込み。 （大阪管区気象台 7月27日発表） ・近畿地方は、7月19日ごろに梅雨明けしたと見られる。（大阪管区気象台 7月19日発表） 	157,032	▲ 1,709	▲ 1.1	156,604	161,300	104
兵 庫	同上（大阪管区気象台 7月27日発表、7月19日発表）	176,596	▲ 1,922	▲ 1.1	176,115	177,400	100
岡 山	<ul style="list-style-type: none"> ・中国地方の7月29日～8月28日の1か月間は、気温は高い見込み。降水量は平年並か少なく、日照時間はほぼ平年並の見込み。 （広島地方気象台 7月27日発表） ・中国地方は、7月19日ごろに梅雨明けしたと見られる。（広島地方気象台 7月19日発表） 	155,172	▲ 1,689	▲ 1.1	154,750	155,600	101
広 島	同上（広島地方気象台 7月27日発表、7月19日発表）	127,201	▲ 1,384	▲ 1.1	126,855	124,300	102
山 口	<ul style="list-style-type: none"> ・九州北部地方（山口県含む）の7月29日～8月28日の1か月間は、気温は高い見込み。降水量は平年並か少なく、日照時間はほぼ平年並の見込み。 （福岡管区気象台 7月20日発表） ・「高温に関する異常天候早期警戒情報」九州北部地方では、7月25日頃からの1週間は、気温が平年よりかなり高くなる見込み。（7日平均地域平年差+1.6℃以上） （福岡管区気象台 7月20日発表） ・九州北部地方（山口県含む）は、7月20日ごろに梅雨明けしたと見られる。（福岡管区気象台 7月20日発表） 	106,443	▲ 1,158	▲ 1.1	106,153	101,400	102
愛 媛	<ul style="list-style-type: none"> ・四国地方の7月29日～8月28日の1か月間は、気温は高い見込み。降水量は平年並か少なく、日照時間はほぼ平年並の見込み。 （高松地方気象台 7月27日発表） ・四国地方は、7月19日ごろに梅雨明けしたと見られる。（高松地方気象台 7月19日発表） ・石平川では、7月1日から22.2%の取水制限（農業用水）が実施されている。吉野川では、6月17日から20%の取水制限（農業用水）が実施されている。 （国土交通省 7月24日現在） 	72,345	▲ 788	▲ 1.1	72,148	72,100	102
高 知	同上（高松地方気象台 7月27日発表、7月19日発表）	49,003	▲ 534	▲ 1.1	48,870	53,100	100
福 岡	<ul style="list-style-type: none"> ・九州北部地方（山口県含む）の7月29日～8月28日の1か月間は、気温は高い見込み。降水量は平年並か少なく、日照時間はほぼ平年並の見込み。 （福岡管区気象台 7月20日発表） ・「高温に関する異常天候早期警戒情報」九州北部地方では、7月25日頃からの1週間は、気温が平年よりかなり高くなる見込み。（7日平均地域平年差+1.6℃以上） （福岡管区気象台 7月20日発表） ・九州北部地方（山口県含む）は、7月20日ごろに梅雨明けしたと見られる。（福岡管区気象台 7月20日発表） 	178,582	▲ 1,944	▲ 1.1	178,097	177,400	100
熊 本	同上（福岡管区気象台 7月27日発表、7月20日発表）	185,277	▲ 2,016	▲ 1.1	184,773	171,300	102
宮 崎	<ul style="list-style-type: none"> ・九州南部の7月29日～8月28日の1か月間は、気温は高くなる見込み。降水量は平年並か少なく、日照時間はほぼ平年並の見込み。 （鹿児島地方気象台 7月27日発表） ・「高温に関する異常天候早期警戒情報」九州南部地方では、7月25日頃からの1週間は、気温が平年よりかなり高くなる見込み。（7日平均地域平年差+1.2℃以上） （鹿児島地方気象台 7月20日発表） ・九州南部は、7月13日ごろに梅雨明けしたと見られる。（鹿児島地方気象台 7月13日発表） 	91,606	▲ 997	▲ 1.1	91,357	77,200	100
鹿 児 島	同上（鹿児島地方気象台 7月27日発表、7月20日発表、7月13日発表）	108,704	▲ 1,183	▲ 1.1	108,408	97,600	100

出所(原資料):

[平成29年度産米の都道府県別の生産数量目標について\(農林水産省\)](#)
[平成28年度産米陸稲の収穫量\(農林水産省\)](#)
[平成29年度病害虫発生予報第5号\(農林水産省 7月26日\)](#)
[平成29年度産米の西南暖地における早期栽培等の作柄概況\(7月15日現在\)\(農林水産省 7月27日\)](#)

[農作物の生育状況 7月15日現在\(北海道 7月20日\)、農作物生育状況 7月15日現在\(北海道空知総合振興局 7月20日\)、](#)
[農作物の生育状況 7月15日現在\(北海道石狩振興局 7月20日\)、農作物の生育状況 7月15日現在\(北海道後志総合振興局 7月20日\)、](#)
[農作物の生育状況 7月15日現在\(北海道胆振総合振興局 7月20日\)、農作物の生育状況 7月15日現在\(北海道日高振興局 7月20日\)、](#)
[農作物の生育状況 7月15日現在\(北海道渡島総合振興局 7月20日\)、農作物の生育状況 7月15日現在\(北海道釧路振興局 7月20日\)、](#)
[農作物の生育状況 7月15日現在\(北海道上川総合振興局 7月20日\)、農作物生育状況調査の概要 7月15日現在\(北海道留萌振興局 7月20日\)、](#)
[農作物の生育と農作業の進捗状況 7月15日現在\(北海道オホーツク総合振興局 7月20日\)、](#)
[平成29年度病害虫発生予報第11号8月予報\(北海道病害虫防除所 7月27日\)、](#)
[H29水稲作況\(7月20日現在\)作況調査報告\(青森県産業技術センター農林総合研究所 7月24日\)、](#)
[平成29年度病害虫発生予報第5号\(8月予報\)\(青森県病害虫防除所 7月26日\)、](#)
[平成29年度水稲生育定期調査結果No.6\(7月25日現在\)\(岩手県農業研究センター 7月26日\)、](#)
[平成29年度農作物病害虫発生予報情報発生予報第4号\(7月予報\)\(岩手県病害虫防除所 6月28日\)、](#)
[平成29年度産米の生育状況について\(7月20日現在\)\(宮城県農林水産部 7月21日\)、](#)
[仙台稲作情報第6号\(宮城県仙台農業改良普及センター 7月24日\)、](#)
[平成29年度産米里地区の稲作情報第6号\(宮城県栗原農業改良普及センター 7月24日\)、](#)
[登米地域の稲作通信第7号\(宮城県米づくり推進登米地方本部登米農業改良普及センター 7月24日\)、](#)
[栗原の稲作通信平成29年度第6号\(栗原農業改良普及センター 7月21日\)、](#)
[平成29年度大崎稲作情報第4-2号\(宮城県大崎農業改良普及センター 7月24日\)、](#)
[平成29年度産米気仙沼・南三陸稲作情報第7号\(宮城県本吉農業改良普及センター 7月25日\)、](#)
[稲作情報\(Vol.5\)\(石巻農業改良普及センター石巻地方米づくり推進本部 7月13日\)、](#)
[平成29年度発生予報情報発生予報第7号-水稲-\(宮城県病害虫防除所 7月21日\)、](#)
[生育状況の情報\(秋田県ホームページ「こまちチャンネル」<http://www.e-komachi.jp/> 7月21日\)、](#)
[平成29年度農作物病害虫発生予報発生予報第3号\(7月予報\)\(秋田県病害虫防除所 6月30日\)、](#)
[米づくり技術情報No.7\(オールやまがた米づくり日本一運動本部 7月20日\)、](#)
[稲作だより～第8号～\(オールやまがた米づくり日本一運動村山地域実践本部\(北村山農業技術普及課 7月21日\)、](#)
[つや姫だより第3号\(村山総合支庁北村山農業技術普及課 7月6日\)、](#)
[おいしい米づくり情報第8号\(オールやまがた米づくり日本一推進運動村山地域本部村山農業技術普及課 7月10日\)、](#)
[つや姫通信第6号\(村山総合支庁農業技術普及課 7月21日\)、](#)
[おいしい米づくり情報第11号\(庄内総合支庁農業技術普及課 7月24日\)、](#)
[稲作だより第9号\(オールやまがた米づくり日本一運動最上地域本部 最上総合支庁農業技術普及課 7月26日\)](#)
[おきたま米づくり情報No.6\(オールやまがた米づくり日本一運動置賜地域本部実践班 7月6日\)、](#)
[稲作だより第7号\(IAさがえ西村山IAさがえ西村山水稲部会 村山総合支庁西村山農業技術普及課 7月24日\)、](#)
[酒田・飽海日本一米づくり情報第8号\(庄内総合支庁酒田農業技術普及課 7月13日\)、](#)
[平成29年度農作物有害動物発生予報情報発生予報第5号\(8月\)\(山形県病害虫防除所 7月26日\)、](#)
[平成29年度農作物有害動物発生予報情報注意報第1号\(山形県病害虫防除所 7月20日\)、](#)
[主要な農作物の生育情報平成29年度第4号\(福島県農林水産部 7月7日\)、](#)
[平成29年度病害虫発生予報情報発生予報第3号\(6月\)\(福島県病害虫防除所 6月29日\)、](#)
[農研速報 水稲の生育状況\(7月20日現在、水戸市\)\(茨城県農業総合センター 7月24日\)、](#)
[農研速報 水稲の生育状況\(7月19日現在、龍ヶ崎市\)\(茨城県農業総合センター 7月21日\)、](#)
[病害虫発生予報注意報第1号\(茨城県病害虫防除所 6月12日\)、病害虫発生予報7月号\(茨城県病害虫防除所 6月29日\)、](#)
[平成29年度水稲生育診断予測事業速報No.5\(早植栽培、普通植栽培7月20日調査結果\)\(栃木県 7月25日\)、](#)
[平成29年度病害虫発生予報第3号\(栃木県農業環境指導センター 6月16日\)、](#)
[平成29年度水稲の生育概況vol.2\(平成29年7月5日現在\)\(埼玉県農業技術研究センター 7月5日\)、](#)
[平成29年度病害虫発生予報第3号\(7月予報\)\(埼玉県病害虫防除所 6月28日\)、](#)
[水稲の生育状況と当面の対策第5報\(千葉県農林水産部 7月13日\)、平成29年度病害虫発生予報第3号\(千葉県農林総合研究センター 6月14日\)、](#)
[水稲の生育状況と今後の管理対策\(第7号\)\(新潟県農林水産部 7月26日\)、](#)
[稲作速報No.6\(新潟農業普及指導センター 7月21日\)、](#)
[H29岩船米生育速報\(7月13日現在\)号外\(村上農業普及指導センター 7月13日\)、H29岩船米生育速報\(7月10日現在\)\(村上農業普及指導センター 7月10日\)、](#)
[FAX稲作情報No.9\(三条農業普及指導センター 7月20日\)、](#)
[稲作情報No.9\(南魚沼地域農業振興協議会・南魚沼農業普及指導センター 7月27日\)、](#)
[平成29年度糸川川売れる米づくりコシヒカリ生育情報NO.5\(糸川川地域農林振興部 7月11日\)、](#)
[水稲生育速報\(養農業普及指導センター 7月25日\)、](#)
[コシヒカリ生育情報\(魚沼農業普及指導センター 7月20日\)、](#)
[稲作管理情報No.6\(柏崎農業普及指導センター 7月20日\)、](#)
[柏崎地域新之助栽培情報No.7\(柏崎農業普及指導センター 7月25日\)、](#)
[新発田地域水稲生育速報No.7\(新発田農業普及指導センター 7月25日\)、](#)
[水稲生育速報\(長岡農業普及指導センター 7月25日付\)、](#)
[7/25稲作生育速報\(十日町地域\)\(十日町農業普及指導センター・十日町地域農業振興協議会魚沼米振興部会\)、](#)
[平成29年度稲作生育速報No.6\(佐渡農業普及指導センター 7月20日\)、](#)
[稲作情報No.4津南町版\(十日町地域農業振興協議会 JA十日町・JA津南町・十日町市・津南町・中魚沼NOSAIセンター・十日町農業普及指導センター 7月6日\)](#)
[平成29年上越地域米コシヒカリ・こしいぶき生育速報\(7月25日\)\(上越農業普及指導センター\)、](#)
[平成29年度新潟県病害虫発生予報情報・予報第5号\(7月後半の発生予想\)\(新潟県病害虫防除所 7月13日\)、](#)
[平成29年度新潟県病害虫発生予報情報・予報第4号\(7月の発生予想\)\(新潟県病害虫防除所 6月29日\)、](#)
[TACS情報第8号\(富山県農業技術課 広域普及指導センター 7月18日\)、直播情報\(第6号\)\(富山県農業技術課 広域普及指導センター 7月18日\)、](#)
[病害虫発生予報第4号\(富山県農林水産総合技術センター 6月30日\)、](#)
[平成29年度産米の生育状況と今後の対策\(水稲生育診断技術確立調査-8号\)\(石川県農林総合研究センター 7月18日\)、](#)
[病害虫発生予報第4号\(石川県農林総合研究センター 7月13日\)、](#)
[稲作情報No.11\[水田農業レベルアップ委員会技術普及部会\(農業試験場、福井米戦略課、組合員トータルサポートセンター、JA経済連、主要農作物振興協会\) 7月14日\]、](#)
[平成29年度農作物病害虫発生予報第5号\(福井県農業試験場 6月29日\)、](#)
[平成29年度 作物技術普及情報 第11号\(出穂予測、刈り取り開始予測、高温障害対策\)\(松本農業改良普及センター\)、](#)
[水稲の生育状況\(平成29年度\)\(長野県農業試験場 7月19日\)、水稲の生育状況\(平成29年度\)\(長野県農業試験場 7月18日\)、](#)
[病害虫発生予報第4号\(長野県病害虫防除所 7月18日\)、](#)
[平成29年度水稲生育診断情報No.3\(滋賀県農業技術振興センター 7月7日\)、](#)
[平成29年度病害虫発生予報第7号\(滋賀県病害虫防除所 7月19日\)、](#)
[平成29年度兵庫県農業気象技術情報第3号\(7月情報\)について\(兵庫県農政環境部 6月30日\)、](#)
[平成29年度病害虫発生予報第3号\(兵庫県病害虫防除所 7月21日\)、](#)
[平成29年度病害虫発生予報第4号\(岡山県病害虫防除所 7月3日\)、](#)
[稲作ウェブサイトアドバイス\(No3\)\(JA長門大津、長門農林事務所農業部 7月5日\)、農作物病害虫発生予報7月\(山口県病害虫防除所 7月3日\)、](#)
[気象情報に基づく技術対策・作物平成29年7月\(愛媛県農林水産研究所 7月6日\)、病害虫発生予報\(7月\)\(愛媛県 6月30日\)、](#)
[平成29年度における水稲\(早期、普通期\)の生育状況\(6月30日時点\)\(高知県農業技術センター 6月30日\)、](#)
[平成29年度病害虫発生予報第4号\(7月\)\(高知県病害虫防除所 7月5日\)、](#)
[福岡県の主な農作物の生産状況\(専技情報より抜粋\)\(福岡県農林業総合試験場 6月15日\)、](#)
[平成29年度病害虫発生予報第4号\(7月\)\(福岡県病害虫防除所 6月30日\)、](#)
[平成29年度病害虫発生予報第4号\(7月予報\)\(熊本県病害虫防除所 6月30日\)、](#)
[平成29年度病害虫発生予報第3号\(宮崎県病害虫防除所・肥料検査センター 6月29日\)、](#)
[平成29年度病害虫発生予報第5号\(8月\)\(鹿児島県病害虫防除所 7月27日\)、](#)

北海道地方こう1か月の天候の見通し(札幌管区気象台)、東北地方こう1か月の天候の見通し(仙台管区気象台)、関東甲信地方こう1か月の天候の見通し(気象庁)、
北陸地方こう1か月の天候の見通し(新潟地方気象台)、近畿地方こう1か月の天候の見通し(大阪管区気象台)、中国地方こう1か月の天候の見通し(広島地方気象台)、
四国地方こう1か月の天候の見通し(高松地方気象台)、九州北部地方こう1か月の天候の見通し(福岡管区気象台)、九州南部、奄美地方こう1か月の天候の見通し(鹿児島地方気象台)
全国こう3か月の天候の見通し(気象庁)、全国こう1か月の天候の見通し(気象庁)、異常天候早期警戒情報(気象庁 7月20日)
[平成29年度温水状況について\(7月24日現在\)\(国土交通省\)、](#)
[九州南部の梅雨明けに関するお知らせ\(鹿児島地方気象台 7月13日\)、](#)
[梅雨の時期に関する関東甲信地方気象情報第2号\(気象庁 7月19日\)、梅雨の時期に関する近畿地方気象情報第2号\(大阪管区気象台 7月19日\)、](#)
[梅雨の時期に関する中国地方気象情報第2号\(広島地方気象台 7月19日\)、梅雨の時期に関する四国地方気象情報第2号\(高松地方気象台 7月19日\)、](#)
[梅雨の時期に関する九州北部地方\(山口県を含む\)気象情報第2号\(福岡管区気象台 7月20\)](#)